

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 (最終))

□中学校区 校番17 学校名 昭和中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	○概ね適切と思われるが、達成度がかなり低い項目も見られることから、設定、もしくは項目について再考することも必要だと思える。 ○図書貸出数は、項目として「学力向上」よりも「豊かな感性や社会性を育む」が良いのではないのでしょうか。
目標達成のための方策の適切さ	B	○中間評価以降、効果を発揮した方策もあるが、効果が見られないものもあった。 ○丁寧に取り組まれています。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	○達成されていない項目についても丁寧な分析をされ、改善策を検討されている。 ○課題を適切に分析されています。
今後の改善策(案)の適切さ	B	○中間評価から達成度が下がった項目については、改善策とともに目標設定の数値や目標の示し方に検討が必要だと思える。
その他		○業務改善については、最も難しい項目だと思うが、情報共有、整理整頓、各先生からの効率化の提案を検討して積極的に導入するなど、地道で幅広い取組が進められることを期待する。 ○自分の進路の希望を考え、目的意識を持って中学生を送るような指導をしていただける改善策に期待します。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>○業務の効率化のために誰が、いつまでに、どうする等のスケジュール管理を行い、生徒に向き合う時間の確保ができる職場づくりを行う。</p> <p>○目指す生徒の姿、生徒の実態を踏まえて、評価項目や指標の再設定を行う。</p> <p>○家庭学習の内容や方法について具体的に指導していく。</p> <p>○生徒が主体となってルールを決めたりする自己決定の場を通して、自己指導能力の育成をする。</p>
--------------------	---